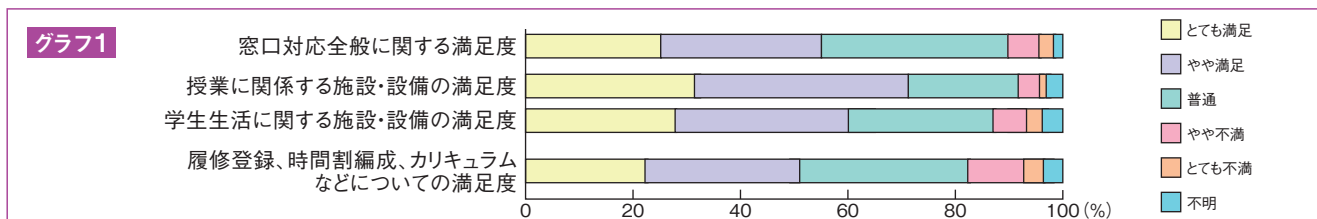


2014年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 2014年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2015年1月10日から20日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスを履修する学生には教員が学生に直接配付し、それ以外の学生には自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・大学院生のみなさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,083名の内、3,082件のデータを回収することができ(回収率:約38.1%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は **グラフ1** の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【概要】

1. 2014年度の教育環境改善報告

創立50周年をむかえた本学は、新たな飛躍を目指す次の50年(NEXT50)に向けて、「教育現場から発信し続ける大学改革」、「教育・研究体制のさらなる推進」、「総合的學生生活支援策の強化」、「少人数教育と国際化・グローバル化教育の推進」、「創立50周年記念館(仮称)の建設とキャンパス再編(第4次計画)」に着手しています。事務局では、これらを支援しつつ、窓口対応、教育研究施設、学生生活施設の各改善について検討を重ね、改善に取り組んでいます。

■窓口対応

- 各課で学生のみなさんからの指摘や意見を点検・評価し、速やかな改善に取り組みました。
- 各課では、「挨拶」「丁寧」「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生との距離を近づける雰囲気づくり、学生を支援する各種イベントの開催、積極的な情報発信などに取り組みました。

■教育施設

- 中央棟外壁の劣化対策工事などの建物メンテナンスを行いました。
- 「創立50周年記念館(仮称)」の建設にむけて、ゼネコンの選考などの準備を行うなど、順調に作業を進めました。
- 学生センター前に新しい掲示板を設置しました。
- グラウンドの一般学生利用について、スポレク準備室(東棟1F)が窓口となり、授業等に支障のない限り利用可能となりました。
- 35周年記念館アリーナの照明をLED照明に更新するなど、環境や省エネに配慮しながら教育施設の機能・性能を向上させました。

■学生生活施設

- 特に意見の多い学生食堂の環境改善については、2015年度から段階的な改善を図るための計画を策定しました。
- 学生センターについては、竣工2年目の検査を実施のうえ、必要部分を修繕し、それ以外の部分も可能な限り改善しました。また、運用方法の改善にも努めました。
- 35周年記念館については、「創立50周年記念館(仮称)」建設に伴い、学生のみなさんの理解と協力を得ながら多目的スペース、ミーティングスペースの利用を一定期間変更しました。

■その他

- 学内の分煙対策については、「分煙パトロール」を実施した際、苦情が多く寄せられていた学食前テラスの巡回を強化するなど、学内喫煙ルールの徹底を図りました。
- 禁煙・受動喫煙防止のための啓発活動として、新入生に向けた「健康ガイドダンス」に加えて、学生が制作したポスターの掲示を行いました。

2. 2014年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■窓口対応について

- 「親切だった」「対応が良かった」などの意見を頂いた一方、今年度のアンケートでは特に職員の仕事量についての指摘が目立ちました。この点については今後、「事務局自己点検評価委員会」を通じて、言葉遣いに関する具体的な意識の統一を図りたいと考えています。

■教育施設・学生生活施設について

- 各施設について、「きれい」「使いやすい」といったコメントが多くありました。また、警備・管理体制やインフォメーションが良いといったコメントもありました。こうした点は今後も維持していきたいと思えます。また、各種のリクエストについても必要性や利用見込などを考慮のうえ、対応していきたいと考えています。
- 「創立50周年記念館(仮称)」は、2017年4月より運用を開始する予定となっており、旧図書館エリアから順次工事を行います。
- 6棟については机・椅子、空調、トイレに関するコメントが寄せられています。指摘のあった箇所については点検を行い、必要に応じて改修します。
- 天野貞祐記念館ならびに東棟については、省CO₂、省エネルギーといった自然環境に関する本学としての方針、エネルギー利用に関する法令遵守に則した空調温度設定、あるいは着衣の工夫を求めるなど、「人と自然と建物が調和する空間」づくりにも取り組めます。
- グラウンドを一般学生・ゼミで利用する場合には、教務課(東棟1階のスポレク準備室)にて空き状況を案内し、利用の受付を行っています。また、クラブ・サークル等で利用する場合は、学生会総務部長室事務課(学生センター3階)にて受付を行っています。
- グラウンドの夜間照明施設の増設あるいは点灯時間延長については、可能な限り安全と利便性の向上に配慮していきたいと思えますが、他方では周囲の住宅への光害問題など大学近隣の影響も考慮する必要があり、引き続き検討を継続します。ご理解とご協力をお願いしたいと思います。
- グラウンドやアリーナの周辺施設(シャワー室、更衣室など)についても点検を行い、故障や不具合等が認められる場合には随時改修を行います。
- 学生センターの一部施設(1階フリースペース、2階トレーニングルーム)は、一般学生も利用可能です。これらの施設の利用については、学生課にて案内しています。
- 学生食堂などの「食」に関する問題については、各種の改善策を策定し、これを段階的に実行する予定です。具体的には学内での弁当販売、座席の確保、食のコンセプト策定、メニュー開発、店舗開発を順次行う予定です。

■その他

- 学内西側エリアでは「創立50周年記念館(仮称)」の建設工事を行っています。その関係上、西門付近には工事関係車両が多く出入りするなどありますが、事故防止のため、通行の制限や警備員による誘導を行います。関連して、旧図書館ならびに5棟周辺の駐輪スペースはしばらく使用できなくなります。その間、学生センター南側に代替の駐輪場を設けました。建物工事期間中の理解と協力をお願いします。
- キャンパス内には配達・運搬のため車両が進入・駐車することがあります。その際は歩行者に注意し徐行するよう、入構者に注意を呼びかけます。
- タバコについては当面、「完全分煙」という方針を掲げながら、できるだけ喫煙習慣を身に付けないようにする取り組みを推進し、喫煙者数の減少に向けて活動していきます。具体的には、分煙パトロールのスタッフを増員し、平日におけるキャンパス内の巡回を強化します。あわせて、ガイドダンスやポスター掲示などを通して、受動喫煙防止や健康増進のための啓発活動を実施していきます。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。